

アマゴのつかみ取り大盛況

◎せせらぎ魚っちゃんぐ

日吉一希を起こす会（城平博徳会長）が主催するせせらぎ魚っちゃんぐが7月13日、節安ふれあいの森で開催されました。昨年は台風の影響で中止となりましたが、今年は大天候に恵まれ、町内外から約300人が訪れました。

溪流釣りには、県内外から釣り愛好家が早朝から詰め掛け、8時の開会行事が終わると、我先にと釣り場へ移動し、大物を狙って釣糸を垂らしていました。子どもを対象とした川の勉強会には、約20人が参加。石の裏側に付いている虫な



▲アマゴのつかみ取り（左）と川の勉強会で虫を採取する子ども（上）

どを採取し、一希を起こす会の会員から説明を受けながら、生態について学びました。最も賑わいをみせたアマゴのつかみ取りには、100人以上が参加。子どもや親子連れが川に入り、つかみ取りを楽しんでいました。



日吉中学校生徒が地域に恩返し

◎公共施設ボランティア活動

7月16日、日吉中学校（高魚重則校長・44人）の全校生徒が、特別養護老人ホーム勝山荘とみどり保育所を訪問し、清掃作業に取り組みました。

この活動は、日頃の学校活動に様々な形で支援をしていただく地域の方々に対し、ボランティア活動を通じて恩返しをしようと20年



以上前から行われている日吉中学校の伝統行事です。当日、勝山荘とみどり保育所を訪れた生徒は、職員からの歓迎を受けた後、担当の場所へ移動。施設の窓ガラスを丁寧に拭いたり、施設周辺に生えている雑草の除去に取り組んだり、約2時間の清掃作業に汗を流しました。

猛暑に負けず12時間打って、走って

◎第6回Y.Y.Cチャリティソフトボール大会

Y.Y.C（好藤ヤングクラブ）と好藤体育委員会主催のチャリティソフトボール大会が7月13日、好藤小学校グラウンドで開催されました。早朝6時から始まった大会には、地元有志ら延べ200人が参加。長期戦となるため、地元の女性団体。ピッチパイが選手の食事作りに協力しました。参加者は、大会ルールにのっとり、ホームランやエラー、三振などを

るたびに50円から200円を寄付。試合は、70回を消化し、157対125でY.Y.Cが勝利を収めました。試合終了後は、12時間主審を務めた善家美喜生さん（西仲）を胸上げし、真つ黒に日焼けした参加者同士で健闘をたたえられました。今回集まったお金120,028円は、好藤地区の保育所、小学校、スポーツ少年団へ寄付されました。